

## 静岡県漁業協同組合連合会

1107 静岡市追手町 9-18  
16.8.27 054-254-6011  
編集・発行 = 指導部漁政課

### 1. 静岡海区漁業調整委員会 委員16名決まる

このほど、任期満了に伴う第18期静岡海区漁業調整委員会委員の改選が行われ、公選委員9名と県知事選任委員7名(学識委員4名、公益委員2名、専門委員1名)の16名が次のとおり決定しました。

委員の任期は、平成16年8月15日から平成20年8月14日までの4年間で、この間円滑なる漁業調整等の任務に当たることになります。

なお、正副会長については来る9月開催の委員会で互選される予定です。

公選委員：根崎 梓(伊東市漁協長) 飯田 仁(採介藻業者:下田市) 鈴木一義(仁科浜漁協長) 小林稲雄(戸田漁協長) 宮城島昌典(清水漁協長) 谷澤輝雄(大井川町漁協長) 名波源四郎(相良町漁協長) 内野 勇(福田町漁協長) 内山尚夫(県機船底曳網組合副組合長) 学識委員：小松隆雄(網代港漁協長) 橋ヶ谷善生(小川漁協長) 日吉俊雄(県旋網漁業者協会理事) 小田初枝(ときめき女性) 公益委員：田中卓郎(県漁業振興基金常務理事) 山本節子(県女性部連合会長) 専門委員：河尻正博(県漁連指導担当参事兼指導部長) (カッコ内は現職、敬称略)

### 2. FRP廃船のリサイクルシステム完成

国土交通省では、このほどFRP廃船の処理手段を確保するための「FRP廃船高度リサイクルシステム構築推進委員会」を開催し、FRP廃船高度リサイクルシステム構築プロジェクトの15年度までの事業内容を取りまとめ、解体・分別して破砕・調合し焼くことでセメント化するリサイクルプラントの実証化と、そのリサイクルモデルの実効性・コスト算定などを実施したことを報告しました。

この事業はFRP廃船を解体・破砕し、破砕したFRPをセメント原料とすること、FRP船の劣化・損傷箇所のみを取替え可能にして長寿命化を図るとともに、これを容易にしてリユース技術を確立すること、リサイクルシステムを構築するために必要な制度を整備することを目標としています。

今年で5年計画の4年目に入っていますが、リサイクル技術は、リサイクルプラントを14年度に開発して性能を検証し、FRP破片を焼いてセメントにする焼成用原燃料が製造され、リサイクルシステムとしては全国7か所で廃船を収集、解体からセメント化までを一貫して行う事業の有効性を確認してコストも算定しました。また、リユース技術は、劣化・損傷箇所だけを取替え可能とし、船体の長寿命化を目指し、発砲構造体での船体の経年劣化、環境負荷などを評価したうえでの標準化船を開発 落下・解体試験をしてブロックを接合した船が十分に検査に合格する可能性を持っていることを確認 携帯型劣化診断装置を開発、性能評価をしました。

会議では、今後どのように役割分担し、コストをどう負担・徴収するかなども検討され、また製造業者がFRP船を引き取り再資源化し、ユーザーに応分の負担を求めることと

ともに、リサイクル費用徴収は排出時を避けることなどの結論を出し、システムを有効に機能させるため、費用を適切に徴収・管理する「資金管理機能」 リサイクルを確実に実施する「リサイクル業務機能」 リサイクル処理の実施状況を確認する「情報管理機能」が必要としました。

### 3. 夏休み親子おさかな体験教室開催される

- 県おさかな普及協議会 -

県おさかな普及協議会では、去る8月20日小川漁港を会場として夏休み親子おさかな体験教室を開催しました。

この教室は当協会のお魚体験学習事業の一環として、県民に身近な漁港に水揚げされる水産物の利用促進や消費拡大を図るため、漁業の生産現場、流通の様子や料理方法などを知ってもらうことを目的に開催しているものです。

当日は、一般公募により選ばれた親子10組、25名が、小川漁協市場岸壁から遊漁船に乗り込み、焼津和田浜沖に設置された定置網の網起しの様子を洋上から見学したあと、魚市場に戻り定置網で漁獲された豆アジ、カマス、タチウオ、イカなどの水揚げ風景やセリを、興味深く見入っていました。

その後参加した親子は、県水産試験場において展示場の見学を行い、同試験場職員等の指導のもとアジの下ろし方を学び、獲れたてのカマス、イカ、ソーダカツオなどをふんだんに使った魚料理を味わうなど、水産物の新鮮さや美味しさを実感し、夏休みの一時を楽しく過ごしました。

### 4. 平成16年度漁協組合長会議・研修会開催のお知らせ

本会では、来る9月29日(水)～30日(木)の両日三溪園(伊豆長岡町)において、平成16年度漁協組合長会議・研修会を開催します。

この会議は、地域の問題点や漁協・漁業が当面する課題等を検討し、その対策の樹立を図るとともに、研修会を通じて業界を取り巻く環境変化に対する洞察力を養い、漁協運営と協同組合運動のリーダーとして研鑽し、もって本県水産物の振興と系統組織の健全な発展に資することを目的に開催するもので、本年度の研修内容は次のとおりです。

第一日目 講演1「沿岸漁業・漁村活性化に向けた政策提言」 講師 = 全国漁業協同組合連合会 漁政部長 長屋信博氏

講演2「漁協合併と漁村再生を探る/漁村の将来と漁協の役割」 講師 = 東京海洋大学海洋科学部 海洋政策文化学科 教授 馬場 治氏

第二日目 前年度組合長会議等実行報告 平成16年度組合長会議：課題の検討・討議及び要望事項の採択 漁協基盤強化方針策定に係わる協議

問合せ：指導部組合課 TEL054 - 254-6011

### 5. 諸会議・日程(8月31日(火)～9月14日(火))

- 既報分省略 -

9月7(火)～8日(水) 県JF共済推進本部 = 幹事長合同会議 (伊豆長岡町)

9月 8日(水) 県桜えび漁業組合 = 役員会 (県水産会館)

9月 9日(木) 県漁連 = 県密漁防止対策協議会・幹事会 (県水産会館)

9月13(月)～14日(火) 県漁港漁場協会 = 第56回全国漁港漁場大会(静岡グランシップ)

歓迎レセプション(13日：センチュリーホテル静岡)